Global Partner/Net VA

グローバルパートナー/Net VA

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

redefining / standards

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3

＊Global Partnerおよび Net VA は、弊社変額個人年金保険の販売名称です。

月次運用レポート

2017年12月

【利用する投資信託の委託会社】

アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社は、マルチ・エクスパートによる資産運用業務をグローバルに展開するアクサ・インベストメント・マネージャーズの日本法人として、機関投資家の資金や投資信託の運用を行う資産運用会社です。1987年の日本進出以来、ファンダメンタルズ情報と最新の運用テクノロジーを結合することにより、一貫した投資哲学に基づく株式のアクティブ運用を行うとともに、債券、オルタナティブ投資商品といった幅広い投資家のニーズに応える高品質な運用商品を提供しています。

アライアンス・バーンスタイン（以下、「AB」）*／アライアンス・バーンスタイン株式会社

アライアンス・バーンスタイン株式会社は、米国ニューヨークに本社を置くアライアンス・バーンスタイン・エル・ピーを中核とするABの日本拠点です。アライアンス・バーンスタイン・エル・ピーは1971年の設立以来、資産運用会社として長年にわたる歴史を有し、世界各国の主要都市に業務展開を行い、個人投資家や富裕層、機関投資家向けに投資信託や年金運用等の投資サービスを提供しています。グローバルな調査体制を擁する世界有数の運用会社として、株式、債券、マルチアセット、オルタナティブ運用など、幅広い資産運用サービスや商品を提供しています。

*ABには、アライアンス・バーンスタイン・エル・ピーとその傘下の関連会社を含みます。

- アクサ生命保険株式会社の「変額個人年金保険」は、特別勘定で運用を行う保険商品です。特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、投資信託ではありません。
- 当資料は、アクサ生命保険株式会社の「変額個人年金保険」の運用状況等を開示するためのものであり、生命保険の募集を目的としたものではありません。
- 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。
- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 商品内容の詳細については「契約締結前交付書面（契約概要／注意喚起情報）(*)」、「リファレンスブック」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」をあわせてご覧ください。
- 当資料に記載されている各表にある金額、比率、資産構成等はそれぞれの項目を四捨五入等していますので、合計等と合致しないことがあります。

＊ 金融商品取引法の2007年9月30日完全施行により配布を開始しております。

変額個人年金保険
特別勘定の月次運用レポート （2017年12月）

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
・当ページは、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき、アクサ生命保険株式会社が作成し提供するものです。情報の内容に関しては万全を期しておりますが、その正確性・完全性については、これを保証するものではありません。

運用環境 [2017年 12月]

【日本株式市場】

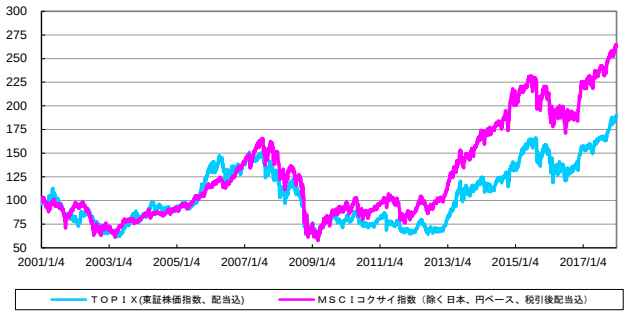
TOPIX（東証株価指数）は上昇し、前月末比＋1.42%の1,817.56ポイントで終えました。月前半に、米大統領がエルサレムを首都と認めると報じられたことを受けて、中東情勢悪化の懸念が高まり、株価は一時下落しました。その後は、米国株式市場が堅調に推移したことや、米国で税制改革法案が成立したことなどを受けて、堅調に推移しました。

【外国株式市場】

米国株式市場は上昇し、NYダウ工業株30種は前月末比＋1.84%の24,719.22ドルで終えました。月前半は、税制改革法案実現への期待感などを受けて、堅調に推移しました。月後半は、税制改革法案が成立したことや、暫定予算が成立し政府閉鎖のリスクを回避したことなど好材料もありましたが、利益確定の売りなどを背景に、上昇幅は限定的となりました。

欧州株式市場は、前月末比、独DAX指数▲0.82%、仏CAC40指数▲1.12%、英FTSE100指数＋4.93%となりました。月前半は、英国のEU（欧州連合）離脱交渉に関して進展が見られたことなどを受けて、上昇基調で推移しました。その後、イギリス市場では続伸となりましたが、ドイツ市場やフランス市場では、ECB（欧州中央銀行）の政策委員会メンバーによる量的緩和縮小に対する前向きな発言などを受けて、ユーロ高に推移したことなどを要因に、下落基調で推移しました。

日本と外国の株式市場の推移
＊下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。



【日本債券市場】

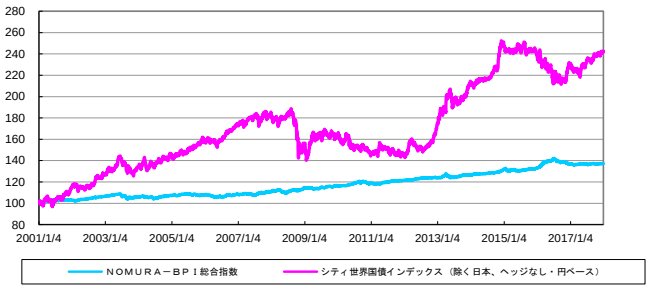
10年国債の金利は上昇（価格は下落）し、月末には0.045%となりました（前月末0.035%）。月前半は、月初、10年国債の入札が不調な結果となったことなどから金利は上昇しましたが、米大統領がエルサレムを首都と認めると報じられたことを受けて、中東情勢悪化の懸念が高まったことなどを受けると金利は低下（価格は上昇）に転じました。月後半は、欧米債券市場の金利上昇に連れて、金利は上昇傾向で推移しました。

【外国債券市場】

米国債券市場では10年国債の金利はほぼ横ばいで推移し、月末には2.405%となりました（前月末2.410%）。月前半は、月初にロシア疑惑に関する報道を受けて金利は低下（価格は上昇）しましたが、その後は、米国の主要統計が強弱まちまちの結果となり、レンジ圏での推移となりました。中旬以降は、米税制改革法案の成立などを背景に上昇基調で推移しましたが、月末にかけては、年末の薄商いの中、消費者信頼感指数の悪化などを要因に金利は低下し、月を通してはほぼ変わらずとなりました。

欧州債券市場では独10年国債の金利は上昇（価格は下落）し、月末には0.427%となりました（前月末0.367%）。月前半は、月初に、米国債券市場の金利低下に連れて金利は低下しましたが、その後は値動きの小さい展開となりました。月後半は、ECBの政策委員会メンバーによる量的緩和縮小に対する前向きな発言や、ドイツ財務省が2018年にドイツ国債を増発する計画を公表したことなどを受けて、金利は上昇基調で推移しました。

日本と外国の債券市場の推移
＊下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。

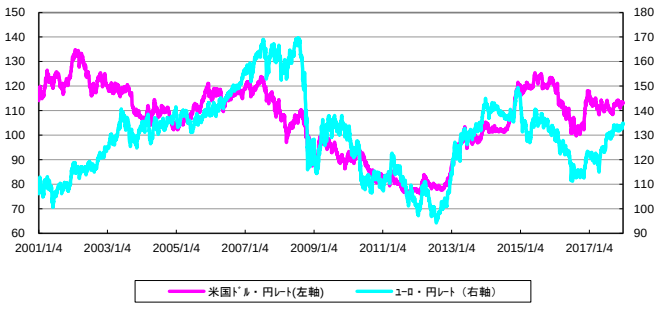


【外国為替市場】

米ドル/円相場は円安米ドル高となり、月末は前月末比＋0.95円の113.00円となりました。月前半は、堅調な米国の雇用統計の発表などを受けて、円安米ドル高で推移しましたが、その後軟調な米国の消費者物価指数などを背景に、円高ドル安で推移しました。月後半は、米国で税制改革法案が成立したことなどを受けて、円安米ドル高で推移しました。

ユーロ/円相場は円安ユーロ高となり、月末は前月末比＋2.13円の134.94円となりました。月前半は、英国のEU（欧州連合）離脱交渉に関して進展が見られたことなどを背景に、円安ユーロ高に推移する場面も見られましたが、ECB理事会での物価上昇率に対する弱気な見解などを受けると円高ユーロ安に推移しました。月後半は、ECBの政策委員会メンバーによる量的緩和縮小に対する前向きな発言などを受けて、円安ユーロ高傾向で推移しました。

外国為替市場の推移



出所：株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信相場仲値

【引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社
お問合せ先： カスタマーサービスセンター
Tel 0120-778-133
アクサ生命ホームページ http://www.axa.co.jp/

変額個人年金保険
特別勘定の月次運用レポート（2017年12月）

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

特別勘定の種類と運用方針について

特別勘定名	基本資産配分比率	運用方針	利用する投資信託	
			投資信託名	委託会社
ライフ・ソリューション30	株式 30% 債券 70%	マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として日本および欧米各国の株式・公社債を対象に分散投資し、信託財産の中長期的な成長を図ることをめざします。株式の実質組入れ比率は純資産の30%程度を基本とします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。	アクサ ローゼンバーグ・ライフ・ソリューション・ファンド 安定型（B） 〈適格機関投資家私募〉	アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社
ライフ・ソリューション50	株式 50% 債券 50%	マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として日本および欧米各国の株式・公社債を対象に分散投資し、信託財産の中長期的な成長を図ることをめざします。株式の実質組入れ比率は純資産の50%程度を基本とします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。	アクサ ローゼンバーグ・ライフ・ソリューション・ファンド 安定成長型（B） 〈適格機関投資家私募〉	アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社
ライフ・ソリューション70	株式 70% 債券 30%	マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として日本および欧米各国の株式・公社債を対象に分散投資し、信託財産の中長期的な成長を図ることをめざします。株式の実質組入れ比率は純資産の70%程度を基本とします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。	アクサ ローゼンバーグ・ライフ・ソリューション・ファンド 成長型（B） 〈適格機関投資家私募〉	アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社
日本株式	日本株式 100%	マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として日本の株式を対象に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を図ることをめざします。定量スクリーニングによって割安度が高く、かつ成長性の高い銘柄を中心に積極的に投資します。	アクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式ファンド（B） 〈適格機関投資家私募〉	アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社
世界株式※1	世界株式 100%	マザー・ファンド受益証券への投資を通じて、日本を含む世界各国の証券取引所上場株式への投資を行い、信託財産の中長期的な成長をめざします。実質的な外貨建組入資産については、原則として為替ヘッジを行います。	アクサ IM・グローバル（日本含む）株式ファンド（為替ヘッジつき） 〈適格機関投資家私募〉	アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社
世界債券	世界債券 100%	主として多種通貨建の投資適格格付確定利付証券に投資し、利息、配当収益、割引債券における償還差益および元本の変動等をもって、信託財産の長期的な成長を図ることをめざします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。	アライアンス・バーンスタイン グローバル・ボンドⅡ・ポートフォリオ（クラスS1受益証券）	アライアンス・バーンスタイン・エル・ピー
マネープール※2	短期金融資産 100%	マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として円建ての短期公社債や短期金融商品に投資し、安定した収益の確保をめざします。	アクサ ローゼンバーグ・日本円マネー・プール・ファンド（B） 〈適格機関投資家私募〉	アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

※ 特別勘定の種類、運用方針および委託会社等の運用協力会社は、将来変更されることがあります。
※ 特別勘定には、各種支払等に備え、一定の現金、預金等を保有することがあります。

※1 当特別勘定で投資していた「適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズH（為替ヘッジあり）」（委託会社:アライアンス・バーンスタイン株式会社）は、2015年10月29日に償還され、2015年10月より新たに「アクサ IM・グローバル（日本含む）株式ファンド（為替ヘッジつき）＜適格機関投資家私募＞」に投資しております。

※2 「マネープール」は株価、債券価格、為替等の変動の影響を受ける可能性が低いことを想定した特別勘定です。
ただし、低金利環境下（マイナス金利を含む）では、「マネープール」の積立金の増加が期待できないだけでなく、諸費用の控除等により積立金が減少することもありますのでご注意ください。

【引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社
お問合せ先: カスタマーサービスセンター
Tel 0120-778-133
アクサ生命ホームページ http://www.axa.co.jp/

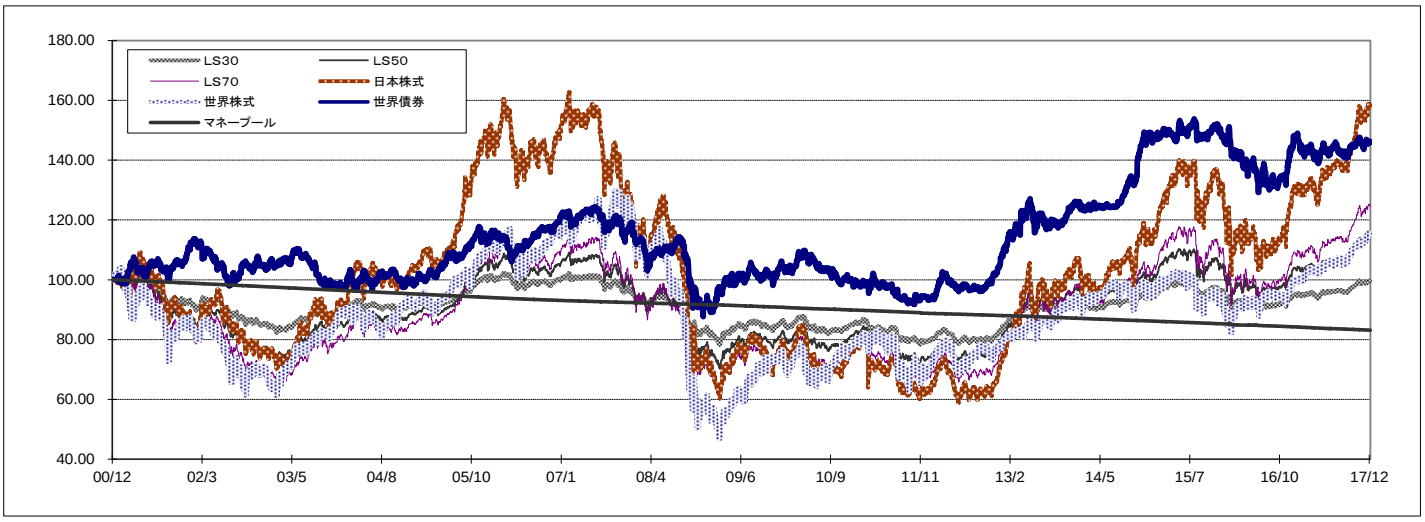
変額個人年金保険
特別勘定の月次運用レポート（2017年12月）

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

特別勘定の運用状況　[2017年12月 末日現在]

■特別勘定のユニットプライスの推移

※ 特別勘定のユニットプライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



ライフ・ソリューション30			
ユニットプライス		騰落率(%)	
2017年12月末	99.41	過去1ヵ月	0.24
2017年11月末	99.17	過去3ヵ月	2.11
2017年10月末	98.88	過去6ヵ月	3.54
2017年9月末	97.36	過去1年	4.94
2017年8月末	96.14	過去3年	4.77
2017年7月末	96.16	設定来	▲0.59

ライフ・ソリューション50			
ユニットプライス		騰落率(%)	
2017年12月末	113.68	過去1ヵ月	0.54
2017年11月末	113.07	過去3ヵ月	4.04
2017年10月末	112.38	過去6ヵ月	6.93
2017年9月末	109.27	過去1年	10.23
2017年8月末	106.71	過去3年	12.40
2017年7月末	106.69	設定来	13.68

ライフ・ソリューション70			
ユニットプライス		騰落率(%)	
2017年12月末	124.62	過去1ヵ月	0.89
2017年11月末	123.52	過去3ヵ月	5.90
2017年10月末	122.42	過去6ヵ月	10.23
2017年9月末	117.68	過去1年	15.46
2017年8月末	113.75	過去3年	19.79
2017年7月末	113.72	設定来	24.63

日本株式			
ユニットプライス		騰落率(%)	
2017年12月末	157.57	過去1ヵ月	1.16
2017年11月末	155.77	過去3ヵ月	8.99
2017年10月末	153.01	過去6ヵ月	14.64
2017年9月末	144.58	過去1年	22.22
2017年8月末	138.68	過去3年	36.22
2017年7月末	138.33	設定来	57.58

世界株式			
ユニットプライス		騰落率(%)	
2017年12月末	115.26	過去1ヵ月	1.74
2017年11月末	113.28	過去3ヵ月	5.74
2017年10月末	112.03	過去6ヵ月	9.72
2017年9月末	109.00	過去1年	16.08
2017年8月末	105.78	過去3年	17.36
2017年7月末	106.47	設定来	15.27

世界債券			
ユニットプライス		騰落率(%)	
2017年12月末	145.89	過去1ヵ月	0.72
2017年11月末	144.86	過去3ヵ月	0.61
2017年10月末	146.04	過去6ヵ月	1.18
2017年9月末	145.00	過去1年	▲1.05
2017年8月末	143.05	過去3年	▲2.19
2017年7月末	142.18	設定来	45.90

※ 特別勘定のユニットプライスは、2000年12月18日のプライスを100．00として計算しています。
※ 騰落率は、該当月の月末のユニットプライスに対する当月末のユニットプライスの変動率を表しています。
※ 各特別勘定のユニットプライスは、弊社ホームページ（下記参照）、およびインターネット対応の携帯電話（https://online.axa.co.jp/ClientWeb/mobile.jsp)にて各営業日にご確認いただくことができます。

マネープール			
ユニットプライス		騰落率(%)	
2017年12月末	83.14	過去1ヵ月	▲0.11
2017年11月末	83.23	過去3ヵ月	▲0.32
2017年10月末	83.32	過去6ヵ月	▲0.62
2017年9月末	83.41	過去1年	▲1.28
2017年8月末	83.49	過去3年	▲3.58
2017年7月末	83.58	設定来	▲16.85

■特別勘定資産の内訳

項目	ライフ・ソリューション30		ライフ・ソリューション50		ライフ・ソリューション70	
	金額(千円)	比率(%)	金額(千円)	比率(%)	金額(千円)	比率(%)
現預金・その他	67,775	4.0	229,372	4.5	158,081	4.4
その他有価証券	1,607,709	96.0	4,817,453	95.5	3,466,134	95.6
合計	1,675,485	100.0	5,046,825	100.0	3,624,216	100.0

項目	日本株式		世界株式		世界債券		マネープール	
	金額(千円)	比率(%)	金額(千円)	比率(%)	金額(千円)	比率(%)	金額(千円)	比率(%)
現預金・その他	169,959	4.5	99,480	4.5	97,049	4.6	55,554	11.7
その他有価証券	3,582,138	95.5	2,116,501	95.5	2,002,387	95.4	420,984	88.3
合計	3,752,098	100.0	2,215,982	100.0	2,099,437	100.0	476,538	100.0

※ 各特別勘定で利用している国内投資信託並びに外国投資信託は、いずれも「その他有価証券」の項目に含まれています。
※ 金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

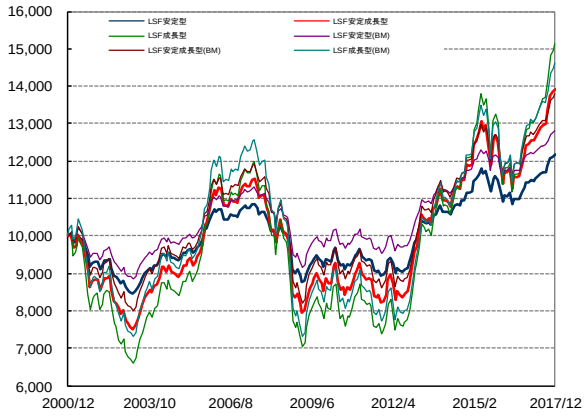
【引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社
お問合せ先：　カスタマーサービスセンター
Tel 0120-778-133
アクサ生命ホームページ http://www.axa.co.jp/

変額個人年金保険
特別勘定の月次運用レポート（2017年12月）

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
・当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

特別勘定　ライフ・ソリューション30・50・70　［ 2017年12月 末日現在 ］

■当投資信託の基準価額の推移



※　投資信託の設定日（2000年12月21日）の前日を10，000として指数化しています。

■利用する投資信託について

【投資信託名】　LS30 ⇒ アクサ ローゼンバーグ・ライフ・ソリューション・ファンド 安定型（B）（適格機関投資家私募）
LS50 ⇒ アクサ ローゼンバーグ・ライフ・ソリューション・ファンド 安定成長型（B）（適格機関投資家私募）
LS70 ⇒ アクサ ローゼンバーグ・ライフ・ソリューション・ファンド 成長型（B）（適格機関投資家私募）
【委託会社】　アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社
【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として日本および欧米各国の株式・公社債を対象に分散投資し、信託財産の中長期的な成長を図ることをめざします。株式の実質組入れ比率は純資産の30%・50%・70%程度を基本とします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。

※　当投資信託は、主として
アクサ ローゼンバーグ・日本株式マザー・ファンド受益証券（適格機関投資家私募）、
アクサ ローゼンバーグ・米国株式マザー・ファンド受益証券（適格機関投資家私募）、
アクサ ローゼンバーグ・欧州株式マザー・ファンド受益証券（適格機関投資家私募）、
アクサ ローゼンバーグ・日本債券マザー・ファンド受益証券（適格機関投資家私募）、
アクサ ローゼンバーグ・日本円マネー・プール・マザー・ファンド受益証券（適格機関投資家私募）
に投資します。

＊ LS:　特別勘定　ライフ・ソリューション
＊ LSF:　アクサ ローゼンバーグ・ライフ・ソリューション・ファンド

■当投資信託の騰落率

	過去1カ月	過去3カ月	過去6カ月	過去1年	過去3年	設定来
LSF安定型	0.35%	2.52%	4.35%	6.47%	8.95%	21.68%
BM	0.41%	2.28%	3.43%	5.33%	8.99%	28.18%
差	▲0.06%	0.24%	0.92%	1.14%	▲0.03%	▲6.50%

	過去1カ月	過去3カ月	過去6カ月	過去1年	過去3年	設定来
LSF安定成長型	0.67%	4.54%	7.92%	12.10%	17.28%	39.29%
BM	0.70%	3.80%	5.72%	9.01%	14.74%	38.04%
差	▲0.03%	0.74%	2.20%	3.08%	2.53%	1.25%

	過去1カ月	過去3カ月	過去6カ月	過去1年	過去3年	設定来
LSF成長型	1.04%	6.49%	11.41%	17.65%	25.21%	51.23%
BM	0.99%	5.29%	7.99%	12.73%	20.29%	46.11%
差	0.05%	1.20%	3.42%	4.92%	4.93%	5.12%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日（2000年12月21日）の前日を起点として計算しています。
※ 投資信託の騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。
また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。
※「BM」とは、合成ベンチマークを指します。合成ベンチマークの組合せの比率は以下のとおりです。

	LSF安定型	LSF安定成長型	LSF成長型
東証株価指数（TOPIX）*1	24.00%	40.00%	55.00%
S&P500種株価指数*2（為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの／円ベース）	3.00%	5.00%	7.50%
MSCI欧州株価指数*3（為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの／円ベース）	3.00%	5.00%	7.50%
ブルームバーグ・バークレイズ・日本総合（3-7年）インデックス*4	30.00%	25.00%	17.50%
日本円無担保コールオーバーナイト物レート*5 により日々運用したときに得られる投資収益を指数化したもの	40.00%	25.00%	12.50%

■当投資信託の資産配分比率

・比率は、投資信託組入全銘柄に対する比率となります。

	基本資産配分	LSF安定型
日本株式	24.00%	25.11%
米国株式	3.00%	1.07%
欧州株式	3.00%	3.08%
日本債券	30.00%	27.87%
短期金融資産等	40.00%	42.86%
合計	100.00%	100.00%

	基本資産配分	LSF安定成長型
日本株式	40.00%	43.43%
米国株式	5.00%	2.98%
欧州株式	5.00%	5.14%
日本債券	25.00%	27.10%
短期金融資産等	25.00%	21.36%
合計	100.00%	100.00%

	基本資産配分	LSF成長型
日本株式	55.00%	61.13%
米国株式	7.50%	5.36%
欧州株式	7.50%	6.02%
日本債券	17.50%	20.88%
短期金融資産等	12.50%	6.61%
合計	100.00%	100.00%

※ 各資産の投資信託欄は、原則、当投資信託における各マザー・ファンド保有率を記載しております。（短期金融資産等については、当投資信託で保有する現金等も含んでおります。）

■当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

投資信託の騰落率は、LSF30（安定型）、LSF50（安定成長型）、LSF70（成長型）それぞれ、前月末比＋0．35%、＋0．67%、＋1．04%となりました。一方、ベンチマークの騰落率は、前月末比＋0．41%、＋0．70%、＋0．99%となり、ベンチマーク対比▲0．06%、▲0．03%、＋0．05%となりました。
12月の主な動きとしては、英国のEU（欧州連合）離脱交渉、スペインのカタルーニャ州議会選挙、米国の税制改革の進展が挙げられます。米国では、良好な雇用環境や堅調な経済指標、税制改革法案成立等から、株式市場は上昇しました。欧州では、英国のEU離脱条件が大筋合意に達したことや、良好な経済指標を好感し、株式市場は上昇しましたが、月後半はユーロ高の進行に伴い上げ幅は縮小しました。日本では、堅調な経済指標や海外株式市場の上昇を受け、株式市場は上昇しました。日本債券市場では、狭いレンジ内での動きとなりましたが月末の国内金利は若干の上昇となりました。
当月の投資信託は、安定型および安定成長型においては、ベンチマークを若干下回るパフォーマンスとなりました。成長型においては、主に資産配分効果がベンチマーク対比のパフォーマンスにプラス寄与しました。なかでも、日本株式の資産配分効果がプラス寄与しました。当投資信託については、先月末にかけて利益確定のため、日本株式を一部売却し配分を引き下げ、ベンチマーク並みとしました。一方、日本債券については配分比率を引き上げました。委託会社は、日本経済は成長する世界経済と貿易の恩恵を受け、株式市場は好調を維持するものと見ており、今後、日本株式の配分比率を再び増やす方針です。
※LSF30・50・70の各投資信託について、アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社が運用指図権限を委託するグループ内の拠点が2018年1月1日に香港からフランスに変更されます。

※　将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。　　・5ページ～9ページに記載されている「*1～*7」の用語説明は、9ページに記載しています。

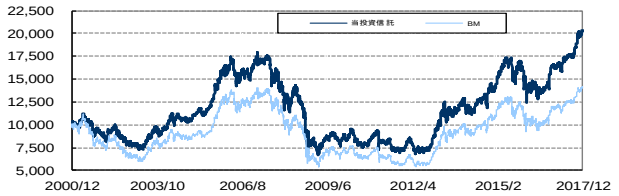
【引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社
お問合せ先：　カスタマーサービスセンター
Tel 0120-778-133
アクサ生命ホームページ http://www.axa.co.jp/

変額個人年金保険
特別勘定の月次運用レポート（2017年12月）

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
・当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

特別勘定　日本株式　［ 2017年12月 末日現在 ］

■当投資信託の基準価額の推移



※　投資信託の設定日（2000年12月21日）の前日を10，000として指数化しています。

■利用する投資信託について

【投資信託名】　アクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式ファンド（B）〈適格機関投資家私募〉
【委託会社】　アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社
【運用方針】
マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として日本の株式を対象に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を図ることをめざします。定量スクリーニングによって割安度が高く、かつ成長性の高い銘柄を中心に積極的に投資します。

※　当投資信託は、主としてアクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式マザー・ファンド受益証券〈適格機関投資家私募〉に投資します。

■当投資信託の騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	1.32%	9.74%	16.01%	24.59%	43.14%	102.07%
BM	1.42%	8.53%	12.76%	19.69%	29.13%	40.97%
差	▲0.10%	1.22%	3.25%	4.90%	14.01%	61.10%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日（2000年12月21日）の前日を起点として計算しています。
※ 投資信託の騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。
また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。
※「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、東証株価指数（TOPIX）[*1]です。

■マザーファンド受益証券の詳細情報

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

○　業種別構成比率

	業種	マザーファンド
1	電気機器	20.77%
2	輸送用機器	10.37%
3	化学	8.44%
4	情報・通信業	7.45%
5	小売業	7.10%
6	医薬品	6.21%
7	銀行業	5.76%
8	不動産業	4.62%
9	その他業種	28.75%
10	現金等	0.55%
合計		100.00%

○　市場別構成比率

	市場	マザーファンド
1	東京証券取引所第一部	95.65%
2	その他の市場	2.03%
3	ジャスダック証券取引所	1.18%
4	東京証券取引所第二部	0.57%
5	名古屋証券取引所第一部	0.02%
6	現金等	0.55%
合計		100.00%

○　組入上位10銘柄

	銘柄	業種	マザーファンド
1	トヨタ自動車	輸送用機器	3.61%
2	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	3.39%
3	武田薬品工業	医薬品	2.08%
4	キヤノン	電気機器	2.01%
5	日立製作所	電気機器	2.01%
6	KDDI	情報・通信業	1.96%
7	三菱電機	電気機器	1.90%
8	ソニー	電気機器	1.82%
9	東海旅客鉄道	陸運業	1.81%
10	伊藤忠商事	卸売業	1.79%
合計			22.38%
組入銘柄数			168銘柄

※　上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

■当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

投資信託の騰落率は前月末比＋1．32%となりました。一方、ベンチマークである東証株価指数（TOPIX）の騰落率は、前月末比＋1．42%となりました。当月の日本株式市場は、企業規模の大きい銘柄が相対的に下落する基調にあり、当投資信託ではこれらの銘柄をベンチマーク対比で少なめに保有していたことはプラスへ寄与しました。委託会社独自の業種別では、ベンチマーク対比で少なめに保有していた石油が上昇したことや多めに保有していたITハードウェアが下落したことはマイナスに寄与しました。一方、個別銘柄では、ベンチマーク対比で、多めに保有していたコンコルディア・フィナンシャルグループ（7186）が上昇したことや少なめに保有していた任天堂（7974）が下落したことはプラスに寄与しましたが、多めに保有していたKDDI（9433）が下落したことや少なめに保有していた小松製作所（6301）が上昇したことはマイナスに寄与しました。
当投資信託の運用方針は、わが国の企業の株式から、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別し、積極的に投資することで、ベンチマークを中・長期的に上回る運用を目指します。割安株の選別は、独自に開発したシステマティックなモデル（定量分析）を幅広い銘柄に適用し、個別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目して、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行なうことを基本とします。

※　将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。　　・5ページ～9ページに記載されている「*1～*7」の用語説明は、9ページに記載しています。

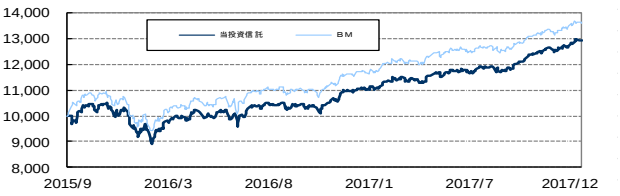
【引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社
お問合せ先：　カスタマーサービスセンター
Tel 0120-778-133
アクサ生命ホームページ http://www.axa.co.jp/

変額個人年金保険
特別勘定の月次運用レポート（2017年12月）

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
・当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

特別勘定　世界株式　［ 2017年12月 末日現在 ］

■当投資信託の基準価額の推移



※　投資信託の設定日（2015年9月30日）の前日を10，000として指数化しています。

■利用する投資信託について

【投資信託名(※1)】アクサ IM・グローバル（日本含む）株式ファンド（為替ヘッジつき）
＜適格機関投資家私募＞
【委託会社(※2)】　アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社
【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、日本を含む世界各国の証券取引所上場株式への投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指します。

※　当投資信託は、主としてアクサ IM・グローバル（日本除く）株式マザーファンド受益証券ならびにアクサ ローゼンバーグ・日本株式マザー・ファンド受益証券〈適格機関投資家私募〉に投資します。

※1,2「適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズH（為替ヘッジあり）」（委託会社:アライアンス・バーンスタイン株式会社）は、2015年10月29日に償還されました。

■当投資信託の騰落率

	過去1カ月	過去3カ月	過去6カ月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	1.93%	6.33%	10.86%	18.29%	―	29.48%
BM	1.01%	5.11%	9.10%	17.88%	―	36.02%
差	0.91%	1.22%	1.76%	0.41%	―	▲6.54%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日（2015年9月30日）を起点として計算しています。
※ 投資信託の騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。
また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。
※「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、MSCIワールド・インデックス[*6]（為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの/円ベース）です。

■マザーファンド受益証券の詳細情報

・比率は、投資信託組入全銘柄に対する比率となります。

○　国別構成比率

	国名	マザーファンド
1	アメリカ	56.70%
2	日本	9.07%
3	イギリス	5.73%
4	ドイツ	4.92%
5	カナダ	3.79%
6	スイス	3.36%
7	オランダ	2.78%
8	フランス	2.76%
9	その他の国	10.35%
10	現金等	0.55%
合計		100.00%

○　セクター別構成比率

	セクター	マザーファンド
1	ソフトウェア・サービス	10.64%
2	医薬品・バイオテクノ・ライフ	8.49%
3	銀行	6.90%
4	資本財	6.76%
5	素材	5.39%
6	エネルギー	5.03%
7	保険	4.95%
8	各種金融	4.90%
9	その他業種	46.41%
10	現金等	0.55%
合計		100.00%

○　組入上位10銘柄

	銘柄	国名	セクター	マザーファンド
1	APPLE INC.	アメリカ	テクノロジー・ハードウェア	2.14%
2	ALPHABET INC-CL A	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.31%
3	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.26%
4	JOHNSON & JOHNSON	アメリカ	医薬品・バイオテクノ・ライフ	1.06%
5	PFIZER INC.	アメリカ	医薬品・バイオテクノ・ライフ	0.97%
6	INTEL CORP	アメリカ	半導体・半導体製造装置	0.97%
7	AT&T INC.	アメリカ	電気通信サービス	0.92%
8	AMAZON.COM INC.	アメリカ	小売	0.89%
9	ROCHE HOLDING AG	スイス	医薬品・バイオテクノ・ライフ	0.86%
10	PEPSICO INC.	アメリカ	食品・飲料・タバコ	0.85%
合計				11.23%
組入銘柄数				775銘柄

※　上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

■当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

投資信託の騰落率は前月末比＋1．93%となりました。一方、ベンチマークであるMSCIワールド・インデックス（為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの）の騰落率は、前月末比＋1．01%となりました。当月のグローバル（日本含む）株式市場は、株式の売買が活発に行なわれた銘柄が相対的に上昇する基調にあり、当投資信託ではこれらの銘柄をベンチマーク対比で多めに保有していたことはプラスへ寄与しました。委託会社独自の業種別では、ベンチマーク対比で少なめに保有していた飲料・タバコが上昇したことや多めに保有していたITハードウェアが下落したことはマイナスに寄与しました。地域別では下落した北米地域の銘柄を多めに保有していたことはマイナスに寄与しました。一方、個別銘柄では、ベンチマーク対比で、多めに保有していた公益事業のPG&E　CORP（アメリカ）やヘルスケア機器・サービスのALIGN　TECHNOLOGY　INC.（アメリカ）が下落したことはマイナスに寄与しましたが、多めに保有していた小売のBEST　BUY　CO.　INC.（アメリカ）やLOWE＇S　COMPANIES　INC.（アメリカ）が上昇したことはプラスに寄与しました。

当投資信託の運用方針は、日本を含む世界各国の株式の中で、個別銘柄の市場価格が適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別してポートフォリオを構築することで、ベンチマークを中長期的に安定的に上回る運用を目指します。割安株の選別は、銘柄選択用クオンツモデル（定量分析）等により、個別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目し、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行なうことを基本とします。

※　将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。　　・5ページ～9ページに記載されている「*1～*7」の用語説明は、9ページに記載しています。

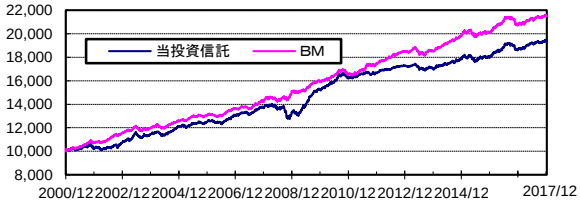
【引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社
お問合せ先:　カスタマーサービスセンター
Tel 0120-778-133
アクサ生命ホームページ http://www.axa.co.jp/

変額個人年金保険
特別勘定の月次運用レポート（2017年12月）

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
・当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

特別勘定　世界債券　［ 2017年12月 末日現在 ］

■当投資信託の純資産価格の推移



※　2000年12月21日を10，000として指数化しています。

■利用する投資信託について

【投資信託名】　アライアンス・バーンスタイン―グローバル・ボンドⅡ・ポートフォリオ（クラスS1受益証券）
【委託会社】　アライアンス・バーンスタイン・エル・ピー
【運用方針】

主として多種通貨建の投資適格格付確定利付証券に投資し、利息、配当収益、割引債券における償還差益および元本の変動等をもって、信託財産の長期的な成長を図ることをめざします。原則として、投資信託の総資産の70%以上を米ドル建ての証券または米ドルをヘッジする証券に投資します。

※　当投資信託は、米ドル建ルクセンブルグ籍外国投資信託です。

■当投資信託の騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	0.01%	0.59%	1.19%	3.21%	8.08%	154.53%
BM	0.22%	0.80%	1.58%	3.04%	8.19%	188.15%
差	▲0.22%	▲0.21%	▲0.40%	0.18%	▲0.12%	▲33.62%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日（1996年11月20日）を起点として計算しています。
※ 投資信託の騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。
　また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。
※「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、ブルームバーグ・バークレイズ・グローバル総合インデックス*7です。
・比率は、投資信託組入全銘柄に対する比率となります。

■当投資信託の詳細情報

○ 国別構成比率

	国名	投資信託
1	アメリカ	45.66%
2	イギリス	8.31%
3	カナダ	6.83%
4	イタリア	5.25%
5	日本	4.51%
6	ドイツ	4.14%
7	スペイン	3.51%
8	ポーランド	3.34%
9	その他	16.82%
10	現金等	1.63%
合計		100.00%

○ 格付別構成比率

格付	投資信託
AAA	42.98%
AA	11.25%
A	29.54%
BBB	16.23%
BB以下（無格付含）	0.00%
合計	100.00%

注）現金等はAAAに含まれます。
格付基準:
※ ムーディーズ社または
スタンダード＆プアーズ（S&P）社のうち、
いずれか高いほうを採用しています。

○ 債券種別資産構成比率

	債券種別	投資信託
1	国債	38.04%
2	投資適格社債	27.21%
3	カバードボンド	8.52%
4	インフレ連動債	8.00%
5	モーゲージ担保証券	3.59%
6	モーゲージ・パス・スルー証券	2.61%
7	地方債（州政府）	2.34%
8	地方債（カナダ）	2.29%
9	その他*	5.77%
10	現金等	1.63%
合計		100.00%

＊　国債先物取引等を含む場合がございます。

○ 組入上位10債券種類

	銘柄	国名	格付 ムーディーズ	格付 S&P	投資信託
1	アメリカ国債(8/15/19-8/15/21)	アメリカ	Aaa	AA+	8.27%
2	アメリカ国債(8/15/20)	アメリカ	Aaa	AA+	8.07%
3	アメリカ国債(2/15/20)	アメリカ	Aaa	AA+	5.60%
4	イタリア国債(9/1/19)	イタリア	Baa2	BBB	3.96%
5	日本国債(3/10/24)	日本	A1	A+	2.88%
6	ファニーメイ(1/1/48)	アメリカ	Aaa	AA+	2.60%
7	アメリカインフレ連動債(4/15/21)	アメリカ	Aaa	AA+	2.51%
8	アメリカインフレ連動債(7/15/21)	アメリカ	Aaa	AA+	2.26%
9	メキシコ国債(6/11/20)	メキシコ	A3	A-	2.25%
10	ポーランド国債(9/23/22)	ポーランド	A2	A-	2.00%
合計					40.40%

※　上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

○ 通貨別構成比率

	債券種別	投資信託
1	アメリカドル	100.88%
2	その他	-0.88%
合計		100.00%

○ ポートフォリオの状況

	投資信託
平均デュレーション	5.67

※「平均デュレーション」とは、当ファンドの組入銘柄のデュレーションを平均したものです。
債券価格の弾力性を示す指標として用いられ、
金利の変化に対する債券価格の感応度を示します。

■当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

当投資信託の騰落率は前月末比＋0．01%、一方ベンチマークであるブルームバーグ・バークレイズ・グローバル総合インデックスは前月末比＋0．22%となりました。
12月、当投資信託の純資産価格は上昇しました。ベンチマークに対してはメキシコやカナダを高めの組入れとした国別配分が主なマイナス要因となりました。また、カナダドル、ニュージーランドドルやオーストラリアドルを低めの組入れとした通貨配分もマイナス要因となりました。一方、ユーロ圏における残存期間戦略はプラス要因となりました。銘柄選択は、全体として大きな寄与はありませんでした。
当投資信託では、長期ゾーンを中心に信用リスクを低めとする慎重なポジションを維持します。ベンチマーク対比では日本、ユーロ圏、イギリスについては金利の変動に対する感応度を低めとしています。通貨ポジションについては、オーストラリアドル、ニュージーランドドルおよびカナダドルの組入れを低めとし、ロシアルーブルやポーランドズロチなど新興国通貨やスウェーデンクローナは僅かながら高めとしています。当投資信託は、ユーロ、イギリス、日本、カナダ、オーストラリア、アメリカの先物やイギリスおよび日本の金利スワップ等を使用して全体の金利の変動に対する価格感応度をベンチマーク並みとなるよう調整しています。

※　将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。　・5ページ～9ページに記載されている「*1～*7」の用語説明は、9ページに記載しています。

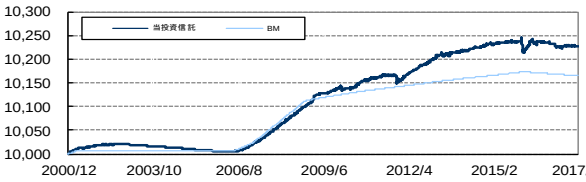
【引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社
お問合せ先:　カスタマーサービスセンター
Tel 0120-778-133
アクサ生命ホームページ http://www.axa.co.jp/

変額個人年金保険
特別勘定の月次運用レポート（2017年12月）

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
・当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

特別勘定　マネープール　［ 2017年12月 末日現在 ］

■当投資信託の基準価額の推移



※　投資信託の設定日（2000年12月21日）の前日を10，000として指数化しています。

■利用する投資信託について

【投資信託名】　アクサ　ローゼンバーグ・日本円マネー・プール・ファンド（B）〈適格機関投資家私募〉
【委託会社】　アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社
【運用方針】
マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として円建ての短期公社債や短期金融商品に投資し、安定した収益の確保をめざします。

※　当投資信託は、主としてアクサ ローゼンバーグ・日本円マネー・プール・マザー・ファンド受益証券〈適格機関投資家私募〉に投資します。

■当投資信託の騰落率

	過去1カ月	過去3カ月	過去6カ月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	▲0.01%	▲0.02%	▲0.02%	▲0.10%	▲0.05%	2.26%
BM	▲0.00%	▲0.01%	▲0.02%	▲0.05%	▲0.00%	1.65%
差	▲0.01%	▲0.01%	0.00%	▲0.05%	▲0.05%	0.61%

※　設定来の騰落率は、投資信託の設定日（2000年12月21日）の前日を起点として計算しています。
※　投資信託の騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。
　　また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。
※　「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、日本円無担保コールオーバーナイト物レート[*5]により日々運用したときに得られる投資収益を指数化したものです。

■マザーファンド受益証券の詳細情報

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

○　資産構成

	修正デュレーション	マザーファンド
公社債	0.55年	95.85%
国債	0.00年	0.00%
地方債	0.00年	0.00%
特殊債・財投債	0.67年	32.01%
金融債	0.61年	3.54%
社債等	0.48年	60.30%
その他	0.00年	0.00%
短期資産等	0.00年	4.15%
CD		0.00%
CP		0.00%
T-Bill		0.00%
コールローン		3.97%
その他		0.19%
合計	0.52年	100.00%

※　「T-Bill」には、残存期間が1年未満の国債を含みます。
※　「修正デュレーション」とは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

○　公社債の格付別構成比率

格付区分	マザーファンド
AAA	0.00%
AA	18.53%
A	81.47%
BBB	0.00%
BB以下（無格付含）	0.00%
合計	100.00%

○　短期資産等の格付別構成比率

格付区分	マザーファンド
P-1	0.00%
P-2	0.00%
P-3	0.00%
無格付	0.00%
合計	0.00%

格付基準：※　海外格付機関の格付を優先します。
※　コールローンは格付別構成比率には含めていません。
（公社債の格付別構成比率と短期資産等の格付別構成比率の合計が100%になります。）
※　海外格付機関の格付取得の無い発行体は、国内格付機関の格付けを採用します。
※　T-Bill等国債同等の無格付短期資産においては短期格付をP-1格とします。
※　T-Billに分類された1年未満の国債については「○公社債の格付別構成比率」に含めています。

■当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

投資信託の騰落率は前月末比▲0．01%、一方、ベンチマークである日本円無担保コールオーバーナイト物レートは前月末比▲0．00%となりました。
当月の債券市場は小幅の動きとなりました。日銀の量的緩和政策はしばらく継続されるものと考えられますが景気は堅調で、当月末の2年国債利回りは前月比0．024%上昇のマイナス0．132%となりました。
委託会社は、国内債券市場が日銀の金融緩和政策によって引き続き低金利で推移するとみています。今後の運用方針として、年限の短い国債や政府保証債への投資で流動性を確保しつつ、クレジットリスクの低い社債へ投資して、安定した運用と利回りの向上をめざす方針です。
※アクサ ローゼンバーグ・日本円マネー・プール・マザー・ファンド〈適格機関投資家私募〉は、より安定した収益の確保を目指すため、投資対象の格付け、残存年数について、2017年11月30日に投資ガイドラインを厳格化もしくは明確化しました。

※　将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。　　・5ページ～9ページに記載されている「*1～*7」の用語説明は、9ページに記載しています。

用語説明

＊1「東証株価指数（TOPIX）」とは、東京証券取引所第一部に上場する国内株全銘柄を対象として算出した指数で、わが国の株式市場全体の値動きを表す代表的な株価指数です。
東証株価指数（TOPIX）は、株式会社東京証券取引所（以下㈱東京証券取引所）の知的財産であり、この指数の算出、数値の公表、利用など株価指数に関するすべての権利は㈱東京証券取引所が有しています。
㈱東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止、またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

＊2「S&P500種株価指数」とは、スタンダード＆プアーズ社が公表している株価指数で、米国の主要500社によって構成されています。当該指数に関する一切の知的財産権その他一切の権利はスタンダード＆プアーズ社に帰属しています。S&P500種株価指数（為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの）は、S&P500種株価指数（米ドルベース）に対し、委託会社が為替ヘッジコスト相当分を調整した上で円ベースに評価したものです。

＊3「MSCI欧州株価指数」とは、MSCI Inc. の算出する欧州株式市場の動きを示す指数です。MSCI欧州株価指数に関する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。
また、MSCI Inc. は、指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。MSCI欧州株価指数（為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの）は、MSCI欧州株価指数（現地通貨ベース）に対し、委託会社が為替ヘッジコスト相当分を調整した上で円ベースに評価したものです。

＊4 ブルームバーグは、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーの商標およびサービスマークです。バークレイズは、ライセンスに基づき使用されているバークレイズ・バンク・ピーエルシーの商標およびサービスマークです。ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社またはブルームバーグのライセンサーは、ブルームバーグ・バークレイズ・日本総合（3-7年）インデックスに対する一切の独占的権利を有しています。

＊5「日本円無担保コールオーバーナイト物レート」について。コール市場とは、民間金融機関が短期的な手元資金の余剰や不足を調整するための市場をいいます。
このコール市場において、金融機関間で、担保なしで、翌日に返済することを条件に、短期の資金を貸し・借りする取引に適用される金利を「無担保コールオーバーナイト物レート」といいます。

＊6「MSCIワールド・インデックス」とは、MSCI Inc. が世界の先進国株式市場のパフォーマンスを測るために開発した指数で、各国の株式時価総額等をベースに算出されたものです。
MSCIワールド・インデックスに関する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
MSCIワールド・インデックス（為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの/円ベース）は、MSCIワールド・インデックス（配当込み・グロス・現地通貨建て）に対し、委託会社が為替ヘッジコスト相当分を調整した上で円ベースに評価したものです。

＊7「ブルームバーグ・バークレイズ・グローバル総合インデックス」は、ブルームバーグ・エル・ピーが公表するインデックスであり、世界の投資適格債券市場のパフォーマンスをあらわします。
当該インデックスに関する知的財産権およびその他の一切の権利はブルームバーグ・エル・ピーに帰属します。

【引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社
お問合せ先：　カスタマーサービスセンター
Tel 0120-778-133
アクサ生命ホームページ http://www.axa.co.jp/

変額個人年金保険のリスク及び諸費用について　①

【投資リスクについて】

この保険は積立金額および年金額等が特別勘定資産の運用実績に応じて変動（増減）するしくみの変額個人年金保険です。
特別勘定資産の運用は、主として国内外の株式および公社債を主要投資対象とする投資信託を利用して運用され、
株式および公社債の価格変動と為替変動等に伴う投資リスクがあります。
特別勘定資産の運用実績が積立金額に直接反映されますので、このリスクはご契約者に帰属し、ご契約者が損失を被ることがあります。
運用実績によっては、ご契約を解約した場合の払いもどし金額等が一時払保険料等を下回る場合があります。
特別勘定における資産運用の結果がご契約者の期待通りでなかった場合でも、当社または第三者がご契約者に何らかの補償・補填をすることはありません。

【諸費用について】

ご契約者などにご負担いただくこの保険の諸費用は、次のとおりです。

＜年金支払開始日前＞

●特別勘定のユニットプライス（単位価格）を計算する前にご負担いただく費用

項目	時期	費用	備考
契約初期費用（増額費用）	特別勘定繰入前	保険料の**2．0%**	保険料から契約初期費用として2．0%が控除された後の金額が積立金として特別勘定で運用されます。（増額費用も同じ）
保険契約管理費（積立金比例額）	毎日	特別勘定の積立金総額に対して **年率1．2%***	当社の経費に充当されます。（基本保険金額を死亡時に最低保証するための費用および災害死亡保険金のための費用を含みます。）

*　毎日その日の始めの特別勘定の積立金総額に年率1．2%の365分の1を乗じた金額を毎日その日の終わりの特別勘定の積立金総額から控除します。

●ご契約の内容と取引の内容による費用

特別勘定のユニットプライス（単位価格）を計算した後にご負担いただく費用は、次のとおりです。

項目	時期	費用	備考
保険契約管理費（件数比例額）	月単位の契約応当日	毎月　**100円**	契約1件あたり毎月の契約応当日の前日の積立金の合計額から控除します。
積立金移転費用	移転時	<書面による移転申込みの場合> 1回目**1,500円** 2回目以降は1回につき**2,300円** (*1)	毎回の移転について積立金から控除します。
		<インターネットによる移転申込みの場合> 月1回の積立金の移転は**無料** 2回目からは1回につき**800円** (*1)	1ヵ月に2回以上積立金の移転を行なう場合、2回目からの移転について積立金から控除します。
貸付利息	月単位の契約応当日および貸付金の返済時	貸付金額の年利**1．2%**	貸付金制度を利用されたとき、月単位の契約応当日および貸付金の返済時に、積立金から徴収します。
解約控除	解約時	積立金額の **8．0%～0．8%**	解約日が契約日または増額日より起算して10年未満の場合には、経過年数（1年未満切り上げ）に応じて、積立金額に対して解約控除率（8%から0．8%）を乗じた金額を積立金額から控除します。
	減額時	減額に相当する積立金額の **8．0%～0．8%**	減額日が契約日または増額日より起算して10年未満の場合には、経過年数（1年未満切り上げ）に応じて、減額に相当する積立金額に対して解約控除率（8%から0．8%）を乗じた金額を減額に相当する積立金額から控除します。

(*1) 月単位の契約応当日から翌月の契約応当日の前日までに積立金移転を行なった回数

※　貸付制度は、ご契約が成立後、会社の定める範囲内で何回でも貸付を受けることができます。

※　将来、上記の内容が変更になることがあります。

変額個人年金保険のリスク及び諸費用について　②

●その他間接的にご契約者にご負担いただく運用関係の費用は、次のとおりです。

項目	時期	費用	備考
運用関係費	毎日	ライフ・ソリューション30 年率0．972%程度(税抜0．900%程度)	特別勘定が利用する投資信託の純資産額に対して控除いたします。
		ライフ・ソリューション50 年率1．080%程度(税抜1．000%程度)	
		ライフ・ソリューション70 年率1．188%程度(税抜1．100%程度)	
		日本株式 年率0．864%程度(税抜0．800%程度)	
		世界株式 年率0．540%程度(税抜0．500%程度)注	
		世界債券 年率0．460%程度 *1	
		マネープール 年率0．035100%～年率0．496800%程度 (税抜0．0325%～0．4600%程度) *2	

※ 運用関係費は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。
信託報酬の他、信託事務の諸費用等、有価証券の売買委託手数料及び消費税等の税金等の諸費用がかかりますが、これらの諸費用は運用資産額や取引量等によって変動するため、費用の発生前に具体的な金額や計算方法を記載することが困難であり、表示することができません。
また、各特別勘定がその保有資産から負担するため、基準価額に反映することとなります。したがって、お客さまはこれらの諸費用を間接的に負担することとなります。
これらの運用関係費は、運用手法の変更・運用資産額の変動等の理由により、将来変更される可能性があります。

*1 世界債券のみ、ルクセンブルグ籍の投資信託を使用しているため、管理報酬等を記載しております。
管理報酬等には、予め定率として決められている管理報酬および管理会社報酬が含まれます。
その他、お客様にご負担いただく手数料には、保管報酬、管理事務代行報酬、名義書換代行報酬、ルクセンブルグ大公国の法令に基づく税金等、有価証券の売買手数料、保有する有価証券の譲渡・償還益および配当やクーポンに対する源泉徴収税等の諸費用がかかることがありますが、運用資産額の取引量等によって変動するため、費用の発生前に具体的な金額や計算方法を記載することが困難であり、表示することができません。

*2 マネープールの運用関係費は、各月の前月最終5営業日における無担保コールオーバーナイト物レートの平均値に応じて毎月見直されます。

注：2015年10月より新たに利用している投資信託の信託報酬率です。
2015年10月29日に償還された投資信託の信託報酬率は年率0．918%程度（税抜0．850%程度）です。

＜年金支払開始日以後＞

●年金支払開始日以後にご負担いただく費用

項目	時期	費用	備考
年金管理費	年単位の契約応当日	支払年金額の1．0%	年金支払開始日以後、年単位の契約応当日に責任準備金から控除されます。

※ 年金管理費は、将来変更となる可能性があります。